

京都府公共調達検討委員会の開催結果について

1 日 時：平成21年6月1日（月）午前10時30分から午後0時30分

2 場 所：平安会館「朱雀の間」

3 出席者：（委員）郷原委員長、川勝委員、楠委員、関根委員
小林委員は欠席
（事務局）総務部長、総務部副部長、入札課長
建設交通部技監、同理事ほか

4 議事概要

（1）地域活性型総合評価競争入札の実施状況について

<主な意見>

今後、件数を拡大していく中で目指すべき方向に向かい、効果に結びついていくか慎重に確認しながら進めること。 逐次報告

（2）委員会の全体スキーム及び工程について

<主な意見>

成長志向の企業を評価することによりインセンティブを与えるとともに、資金面の支援等の産業政策上の仕組みづくりも重要。

受発注者双方のコストの問題も重要。コストをかけずに適正な企業評価ができることが理想である。

制度改革による新たな仕組みには、それを実行する人員と予算が伴ってはじめて機能するものであり、人的資質向上を含む体制づくりも検討課題とすべき。

<結論>

本委員会の全体スキーム及び工程について、概ね了承

（3）建設業界からの意見聴取の手法について

<主な意見>

企業の規模、あるいは団体か個別企業かにより、出てくる意見も大きく異なり、対象者の選定が最も重要。

地域活性型総合評価競争入札の参加企業へのアプローチも必要。

<結論>

ヒアリング実施委員（川勝・楠 両委員）と手法等について個別に調整した上で、7月に実施予定

（4）最低制限価格のあり方（対象工事の拡大）について

<主な意見>

自治令の「特に必要があると認めるとき」の趣旨は、適切な履行過程の確保や適正な賃金水準の確保も含まれるべきものであり、見直しの必要性は十分ある。

<結論>

最低制限価格の設定対象工事の拡大について了承

5 今後の日程

次回の委員会を8月上旬頃に開催予定